

2017ParaWorldSailingCommittee の総会に参加して

須藤正和

今回パラ・ワールド・セーリングコミッティーは三回目の参加。会議は初日と翌日の二日間で終わった。いままでの中で一番短い時間であった。毎回会議の長さが違うので、事前の日程設定がとても難しい。早く終わった分少し他のコミッティーの勉強ができた。またいろんな方に会い、お話しもする事ができた。

議事内容が知りたい方は直接ミニッツを見て下さい。ここでは私の参加した感想を述べたいと思っています。現在、パラ・ワールド・セーリングコミッティーは 2024 年パラリンピックとしての競技に復活するのが最優先課題で動いている。IPC の意向に沿うように規約を整備したり、PDP を実践して、参加国を増やす活動、また使う艇種の検討など、それぞれ大変な労力を要します。

日本を出発前、鈴木委員長から預かったメッセージは初日にマシモマネージャーに伝えました。その日から最終日帰るまで、ずっと朝食の時間が一緒だったので、よく話をしました。それから日本から提出されたサブミッションについては今回残念ながら採用されませんでした。というのはいまの最優先課題はパラリンピックへの復活。日本の提案は復活後に再提案しても遅くないと委員長が気を使って話してくれた。